
2015年度 第2四半期

決算説明資料



2015年 11月10日

2015年度 第2四半期業績

- 連結業績…………… 4
- 事業セグメント別売上高・経常利益…………… 5
- 事業セグメント別業績内訳…………… 6～8
- 連結貸借対照表…………… 9
- キャッシュ・フローの状況…………… 10
- 設備投資・減価償却費…………… 11

2015年度 通期業績予想

- 通期連結業績予想の修正について…………… 13
- 事業セグメント別売上高・経常利益（予想）…………… 14
- 年間配当（予想）…………… 15

補足資料

- 産業ガスならびにエネルギー関連の製品別売上高…………… 17
- 主要グループ会社売上高…………… 18

注 記 事 項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2015年度 第2四半期業績

2015年度 第2四半期連結業績

(単位：億円)

	2014上期	2015上期	前年同期比増減 (伸び率)
売上高	3,204	3,231	+ 28 (100.9%)
営業利益	154	164	+ 10 (106.8%)
(営業外損益)	(12)	(6)	(▲ 6)
経常利益	166	171	+ 5 (102.8%)
(特別損益)	(11)	(22)	(+ 11)
当期純利益	102	127	+ 25 (124.8%)
自己資本	2,132	2,334	+ 202 (109.5%)
総資産	5,213	5,650	+ 437 (108.4%)
経常利益率	5.2%	5.3%	
R O E	4.9%	5.5%	
E P S	51.90円	64.68円	
自己資本比率	40.9%	41.3%	
ネットD/Eレシオ	0.60	0.56	

2015年度 第2四半期 事業セグメント別売上高・経常利益



(単位：億円)

		2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	971	950	97.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●粗鋼減産の影響強く、高炉オンサイトの販売減少 ●電気料金値上がりによるコスト上昇は一服
	経常利益	54	59	108.2%	
ケミカル関連	売上高	513	482	94.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●原油価格下落の影響により、粗ベンゼンの販売価格が低下 ●タール蒸留事業は、需要悪化と市況低迷により、極めて厳しい状況
	経常利益	11	6	53.6%	
医療関連	売上高	548	574	104.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●医療用酸素の増客増量をはじめ、医療用ガスは堅調 ●高度医療分野に焦点を当てた設備工事、新製品上市の在宅医療が堅調 ●医療サービスの拡大と収益改善が進展
	経常利益	29	31	109.3%	
エネルギー関連	売上高	216	198	91.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●原油価格下落により販売単価が低下 ●L P ガス増客増量、灯油は夏場の気温影響で数量増
	経常利益	9	9	101.0%	
農業・食品関連	売上高	387	458	118.1%	<ul style="list-style-type: none"> ●飲料事業が、需要期の天候影響で販売減少 ●農産・加工事業は、拡販ならびに市況良好により、堅調 ●青果専門店九州屋をM&A
	経常利益	16	19	120.1%	
その他 (海水、物流、その他)	売上高	568	570	100.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●赤穂バイオマス発電が順調 ●高級電磁鋼板用マグネシアならびにヒーター用マグネシアの販売増加 ●物流事業の荷扱量増加、燃料費値下がり
	経常利益	37	43	114.5%	
(調整額)	経常利益	10	4	-	-
合計	売上高	3,204	3,231	100.9%	-
	経常利益	166	171	102.8%	

<産業ガス関連セグメント>

（単位：億円）

	2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高増減要因
ガス	655	604	92%	<ul style="list-style-type: none"> ●高炉オンサイトの酸素数量減が響き、エアセパガス全体の数量が減少 ●エレクトロニクス向けは、半導体・電子部品が好調
機器・工事	146	160	109%	●将来の新たなガス需要が期待されるガス供給設備工事が増加
情報電子材料	170	186	109%	●半導体・電子材料分野向けが堅調
計	971	950	98%	—

<ケミカル関連セグメント>

（単位：億円）

	2014.上期	2015.上期	前年同期比	主な売上高増減要因
コールケミカル	463	352	76%	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス精製は、コークス炉ガス価格が低下 ●粗ベンゼンは、原油価格下落等により価格低下
ファインケミカル	50	45	90%	●精密化学品の需要減少
川崎化成工業	-	86	—	●新規連結
計	513	482	94%	—

シーケム(持分益)	1.7	▲5.4	—	ニードルコークスの市況悪化、世界的な需要減少
-----------	-----	-------------	---	------------------------

2015年度 第2四半期 事業セグメント別業績内訳（2）

<医療関連セグメント>

（単位：億円）

	2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高増減要因
医療ガス	45	45	100%	●医療用酸素は新規病院獲得、既存顧客への拡販
設備	115	118	103%	●市場に一服感あるも高度医療分野への取り組みを推進 ●病院設備全体の複合受注を目指す営業体制の構築
医療サービス	233	226	97%	●受託滅菌の新規獲得あるも、SPDが大型病院の契約終了により減収 ●エムシーサービス 新規連結
医療機器	17	17	94%	●周産期関連、ガス性医薬品が堅調
在宅医療	44	46	104%	●新製品上市により、酸素濃縮器レンタルが拡大
その他	94	121	129%	●半田 新規連結 ●歯科領域は堅調
計	548	574	105%	—

<エネルギー関連セグメント>

（単位：億円）

	2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高増減要因
LPガス	196	179	92%	●LPガス、灯油とも数量増加するも、販売価格が低下
天然ガス関連 ^{ほか}	20	18	90%	●LNGの販売数量増加するも、販売単価が低下
計	216	198	91%	—

<農業・食品関連セグメント>

（単位：億円）

	2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高増減要因
食 品 関 連	77	81	105%	●生ハム販売堅調、冷凍食品主力のブロッコリー販売伸長
農 業 関 連	310	376	121%	●飲料事業は天候影響で野菜飲料の生産販売減少 ●農業・加工事業は農産物の市況好調ならびに加工品拡販により堅調 ●九州屋をM&A
計	387	458	118%	—

<その他セグメント>

（単位：億円）

	2014上期	2015上期	前年同期比	主な売上高増減要因
日 本 海 水	102	111	109%	●赤穂バイオマス発電が順調に稼動開始
タ テ ホ 化 学	44	48	109%	●高級電磁鋼板用マグネシア、ヒーター用マグネシア販売増加
海 水	146	160	109%	—
物 流	194	195	101%	●一般物流の農業関連荷扱量ならびに食品物流が増加
そ の 他	229	216	94%	●Oリングならびにエアゾール、販売堅調
計	568	571	100%	—

(単位：百万円)

	2014期末	2015上期	増減
総資産	547,642	565,019	17,376
流動資産	225,364	232,503	7,138
固定資産	322,277	332,515	10,237
負債	307,488	309,708	2,219
流動負債	188,196	178,182	▲10,013
固定負債	119,291	131,525	12,233
自己資本	226,374	233,422	7,047

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2014上期	2015上期	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	23,046	22,784	▲262
投資キャッシュ・フロー (②)	▲14,354	▲16,694	▲2,340
財務キャッシュ・フロー (③)	▲6,981	▲3,862	3,118
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	1,711	2,227	516
現金及び預金等の期末残高	22,398	31,119	8,721
フリーキャッシュ・フロー	8,692	6,090	▲2,602

(単位：百万円)

	2014上期	2015上期	増減
設備投資	11,805	16,348	4,543
減価償却費	12,545	13,142	597

<セグメント別設備投資>

(単位：百万円)

	2014上期	2015上期	増減
産業ガス関連	4,666	7,541	2,875
ケミカル関連	368	643	275
医療関連	598	882	284
エネルギー関連	1,487	1,203	▲285
農業・食品関連	993	1,373	380
その他	3,692	4,707	625
計	11,805	16,348	4,543

2015年度 通期業績予想

2015年度 通期連結業績予想の修正について

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、期初予想の通りといたします。

(単位：億円)

	2014通期	2015通期予想	前年比増減 (伸び率)	
売上高	6,605	7,000	+ 395	(106.0%)
営業利益	361	400	+ 39	(110.7%)
経常利益	382	420	+ 38	(110.1%)
当期純利益	207	230	+ 23	(111.1%)
有利子負債	1,549	1,708	+ 159	(110.3%)
自己資本	2,264	2,435	+ 172	(107.6%)
総資産	5,476	5,850	+ 374	(106.8%)
経常利益率	5.8%	6.0%		
ROE	9.6%	9.8%		
EPS	105.75円	117.32円		
自己資本比率	41.3%	41.6%		
ネットD/Eレシオ	0.58	0.62		

2015年度 事業セグメント別 売上高・経常利益（予想）

（単位：億円）

		2014通期	2015通期			前年比	
		実績	期初計画	見直計画	期初差	増減	伸び率
産業ガス関連	売上高	2,031	2,040	1,950	▲ 90	▲ 81	96%
	経常利益	127	138	143	+ 5	+ 16	113%
ケミカル関連	売上高	1,026	1,090	1,000	▲ 90	▲ 26	97%
	経常利益	25	28	10	▲ 18	▲ 15	39%
医療関連	売上高	1,183	1,400	1,350	▲ 50	+167	114%
	経常利益	76	100	98	▲ 2	+ 22	128%
エネルギー関連	売上高	528	550	550	0	+ 22	104%
	経常利益	32	35	39	+ 4	+ 7	123%
農業・食品関連	売上高	714	770	970	+200	+256	136%
	経常利益	21	27	30	+ 3	+ 9	143%
その他 (海水、物流、その他)	売上高	1,122	1,150	1,180	+ 30	+ 58	105%
	経常利益	80	80	89	+ 9	+ 9	112%
(調整額*)	経常利益	20	12	11	▲ 1	▲ 9	-
合計	売上高	6,605	7,000	7,000	0	+395	106%
	経常利益	382	420	420	0	+38	110%

* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

配当性向目標：連結純利益の30%

（単位：円）

1株あたり連結純利益および配当金					
	2013年度		2014年度 (実績)		2015年度 (予想)
1株あたり連結純利益	98.32	➡	105.75	➡	117.32
中間配当金	12.00	➡	13.00	➡	14.00
期末配当金	14.00	➡	15.00	➡	14.00
年間配当金	26.00	➡	28.00	➡	28.00

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。